

8 とべもり+(プラス)エリア交流拡大推進事業費

R5年度に「とべもり+(プラス)」として連携を開始したとべもりとえひめ森林公園において、従来の取組みに加え、新たに設置した応援隊の活性化やSDGs視点からのPR強化等行うとともに、来園者データの分析や移動手段の確保・検証を行うことにより、施設間周遊の円滑化と活性化を図る。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 都市整備課
 (089-912-2745)

指標	施策	20 本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進 KGI 日本人延べ宿泊者数	現状値 4,529千人 (R1年) 目標値 4,900千人 (R8年)
	細施策	20-4 各都市公園の魅力向上 KGI 各都市公園の年間来訪者数合計	現状値 2,421千人 (R4年度) 目標値 2,667千人 (R8年度)

事業イメージ	KPI とべもり+2施設以上の周遊者数 (前年度から50%/年 以上の増を目指す)	現状値 (参考※) 1,500人 (R4年度) 目標値 6,000人 (R7年度)
--------	--	--

※動物園とこどもの城の同日利用実績をもとに参考値として設定

事業概要 【デジタル田園都市国家構想交付金充当事業】



【現状】

【課題】

- 4 施設の認知度及び一体感
- 4 施設間の周遊の機会
- 来園手段及び施設間移動
- コロナ禍からの来園者数の復活

【事業の実施】

【対応】


- 4 施設で一元化したPRの実施
- 誘客イベント等の実施
- 松山中心部等からの移動手段の確保
- 来園者データの分析・検証

【周遊の円滑化】


1 スマホアプリとべもり+ N a v i の機能拡張 5,030千円
 とべもり+の施設内及び施設間の移動に便利なデジタルマップ機能等を拡充し、周遊の円滑化を図る。

2 とべもり+集客促進事業【新規】 5,719千円
 松山市中心部や道後温泉の旅行客等に、とべもり+エリアへ直行する移動手段を提供し、来園促進を図るとともに運行の継続性についても検討。


とべもり+各施設の特徴を生かし 連携して相乗効果を図る




とべ動物園



えひめこどもの城



総合運動公園



えひめ森林公園

Tobemori+
 とべもり+(プラス) tobe wonder forest

【周遊の活性化】

1 とべもり+イルミネーションの実施 8,501千円
 とべもり+の4施設において同時期にイルミネーションを実施。一元的に広報を行うことで、誘客機会の拡大及び施設間の周遊の活性化を図る。

2 とべもり+SDGs学習プログラムの利用促進 4,258千円
 R4年度に作成したSDGsプログラムの団体利用の促進を図るため、ターゲット層を絞った体験ツアー等によるPRを実施。

3 とべもり+応援隊活動事業【新規】 2,863千円
 アンバサダーやパートナーで構成する応援隊の活動を通じて、連帯感の醸成を図るとともに、エリア内の「押し」の風景写真の募集によるPRを実施

4 とべもり+PR強化事業【新規】 1,586千円
 PR及び優遇サービス提供の店舗を募集し、協力店舗情報を集約・発信することでとべもり+の認知度及び周遊性の向上を図る。

5 ビッグデータを活用した情報分析【新規】 2,998千円
 施設来訪者の行動データを分析し、より効果的な事業の実施に繋げる。